

2020年9月25日

各位

フィンテック グローバル株式会社  
代表取締役社長 玉井 信光  
(コード番号：8789 東証マザーズ)

問合せ先：取締役副社長 上席執行役員 鷲本 晴吾  
電話番号：(050) 5864-3978

### 2020年9月期連結業績予想に関するお知らせ

従来未定としておりました2020年9月期の連結業績予想について、現在のメツァの運営状況及び投資銀行事業における投資回収の状況を踏まえて、連結業績予想が可能であると判断して、下記の通り算定いたしましたのでお知らせします。

記

2020年9月期連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回発表予想 (B)	6,730	△1,090	△1,230	△1,260	△6.27
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2019年9月期)	9,175	△1,664	△1,850	△1,586	△8.08

(業績予想に関する説明)

当期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言等により2020年3月から6月にかけてメツァが臨時休園となり、想定外の影響を受け、経営環境が大きく変化しました。現在メツァにおいては、2020年8月12日付「ムーミンバレーパーク経営安定化施策に関するお知らせ」のとおり各種施策を進めておりますが、営業再開後の来園者数はコロナ禍前の水準を下回って推移しております。

売上高については、上述の事由によりエンタテインメント・サービス事業においてメツァ関連の売上高が前期比で減少する見込みとなったほか、投資銀行事業における投資回収の遅れや、公共コンサルティング事業における前期第4四半期の子会社の連結除外などにより、前期比で2,445百万円減少し6,730百万円となる見込みです。

営業損益については、売上高が減少するものの、前期に計上していた企業投資の減損等545百万円が大幅に減少する見通しであり、また前期のメツァの開業準備費用、その他一時的費用がなくなり、人件費、諸経費も全社的に圧縮していることから、前期比で574百万円改善し1,090百万円の営業損失となる見込みです。親会社株主に帰属する当期純損失は、特別損失として第3四半期までに計上したムーミンバレーパークの臨時休園期間中の固定費(人件費、減価償却費等)等292百万円のほか、非支配株主に帰属する当期純損失により、1,260百万円となる見込みです。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上